

# 京都府の雇用失業情勢

＝令和8年3月及び令和7年度内容＝

令和8年4月28日  
京都労働局職業安定部

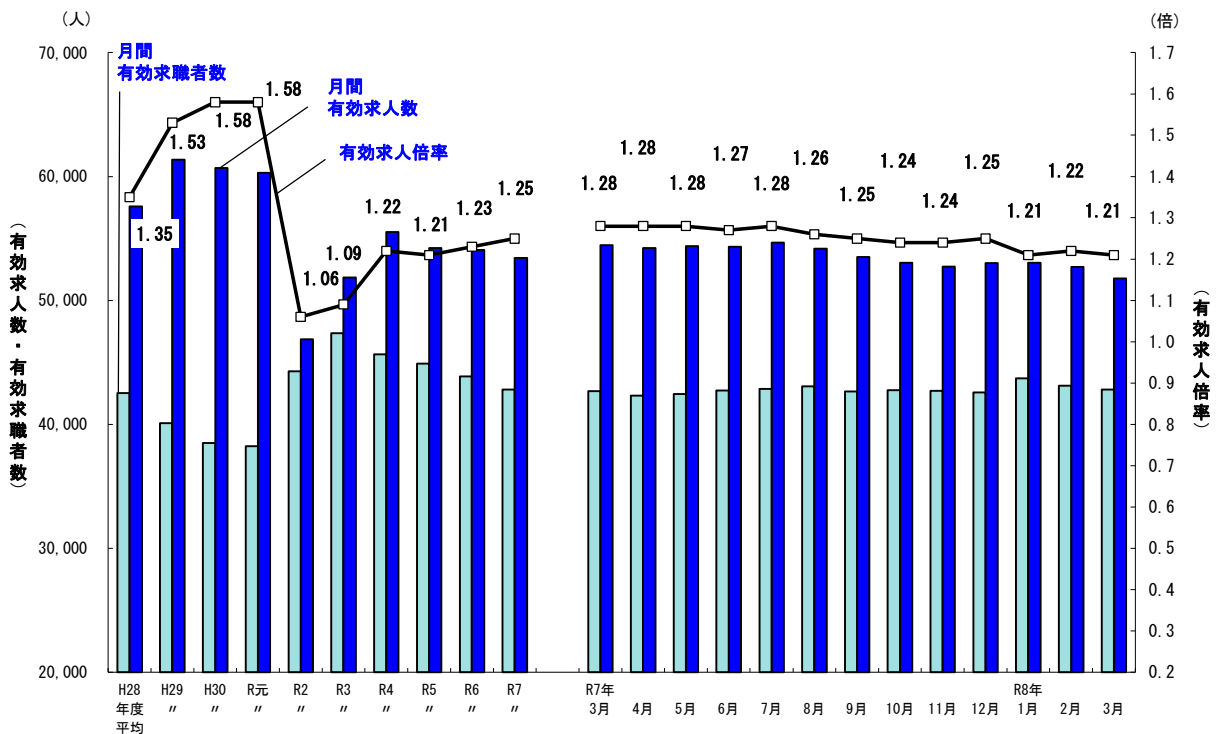
## I 京都府の雇用失業情勢

京都府内の雇用情勢は、緩やかに持ち直しているものの、求人の動きに弱さもみられる。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響について注意する必要がある。

### 1 雇用失業情勢の総括

有効求人倍率（季節調整値）は1.21倍で、前月より0.01ポイント低下した。  
有効求人数（季節調整値）は51,770人で、前月より1.8%減少した。  
有効求職者数（季節調整値）は42,806人で、前月より0.7%減少した。  
新規求人倍率（季節調整値）は2.33倍で、前月と同水準となった。  
令和7年度の有効求人倍率は1.25倍で、前年度より0.02ポイント上昇した。

#### 【有効求人、有効求職及び有効求人倍率の推移】



注1：月別の数値は季節調整値である。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。  
注2：ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

## 2 雇用・失業等に関する動向

### (1) 雇用者数に関する指標

令和8年3月末の雇用保険被保険者数は771,893人で、前年同月比0.9%増となった。

就職件数は2,489件と前年同月比で8.0%減となった。また、就職率は30.6%となり、前年同月差4.5ポイント低下した。

### (2) 失業に関する指標

令和8年3月の雇用保険受給者実人員は8,807人と前年同月比18.9%増となり、受給資格決定件数は2,347人と同22.6%増となった。

新規求職者は、前年同月比5.9%増となった。希望別にみると、常用フルタイム就職を希望する新規求職者は前年同月比で6.3%増、常用パートタイムは同5.1%増となった。態様別では、在職者が前年同月比で2.9%減、離職者が同8.8%増、無業者が同14.6%増となった。離職者のうち事業主都合離職者は前年同月比で11.9%増となり、自己都合離職者は同8.5%増加した。

### (3) 有効求人倍率等の動向

令和8年3月の有効求人倍率（季節調整値）は、有効求人数が前月比で1.8%減少し、有効求職者数も同0.7%減少した結果、1.21倍となり、前月より0.01ポイント低下した。

新規求人倍率（季節調整値）は、新規求人数が前月比で1.0%増加し、新規求職者数も同1.1%増加した結果、2.33倍となり、前月と同水準となった。

新規求人数（原数値）は、前年同月比3.6%減となったが、その要因は、農、林、漁業、建設業、製造業、金融、保険業・不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、医療、福祉等は前年同月比で増加したものの、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）等で減少したことによる。令和7年度計では、前年度より1.7%減となった。

製造業では、非鉄金属、金属製品製造業、はん用、生産用、業務用機械器具製造業、その他の製造業、輸送用機械器具製造業等で増加したことから、製造業全体では前年同月比で6.7%増加した。令和7年度計では、前年度より1.3%減となった。

【京都労働局 令和8年4月28日公表資料参照のこと】

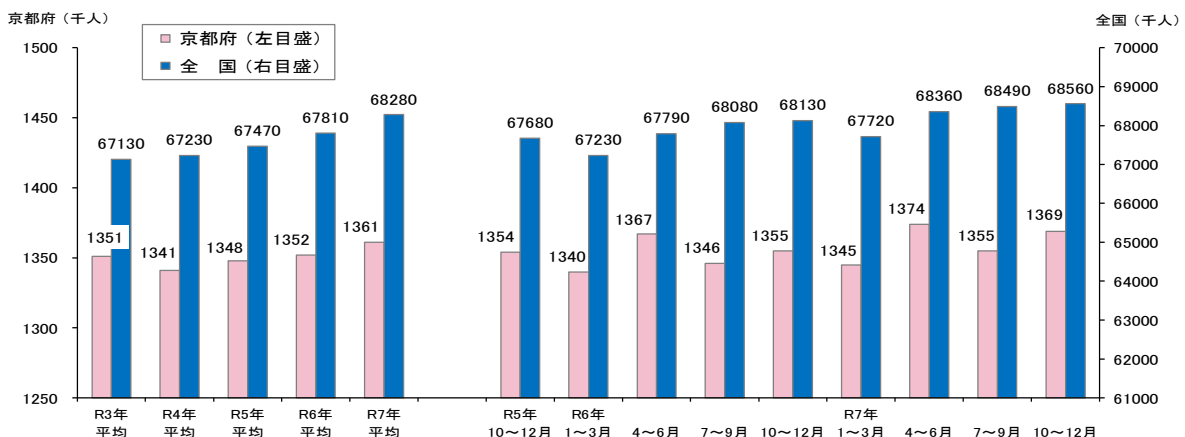
## 3 その他の主な指標

京都府内の令和7年10月～12月期の完全失業率、完全失業者数、就業者数は次のとおりである。

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| (1) 京都の完全失業率 | 2.3%と前年同期差0.2ポイント上昇。 |
| (2) 完全失業者数   | 3.2万人と前年同期比10.3%増加。  |
| (3) 就業者数     | 136.9万人と前年同期比1.0%増加。 |

【総務省統計局「労働力調査」、四半期平均（モデル推計値）より】

### 【全国及び京都府の就業者の推移】



※資料出所：総務省統計局「労働力調査」

※京都府の就業者数は、四半期平均及び年平均（モデル推計値）

## II 全国の雇用失業情勢

現在の雇用情勢は、有効求人倍率はおおむね横ばいで、求人が引き続き求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直している。  
物価上昇・中東情勢等が雇用に与える影響に留意する必要がある。

### 1 完全失業率等の動向

令和8年3月の完全失業率（季節調整値）は2.7%となり、前月より0.1ポイント上昇した（男性は2.9%、女性は2.4%）。

#### 【その他の主な指標】

- (1) 完全失業者数（季節調整値）は186万人と前月より1万人増加。なお、原数値は194万人と前年同月より14万人増加。
- (2) 前月と比べ就業者は12万人減少、雇用者は22万人減少、非労働力人口は8万人増加（いずれも季節調整値）。

### 2 有効求人倍率等の動向

令和8年3月の有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍で、前月より0.01ポイント低下。

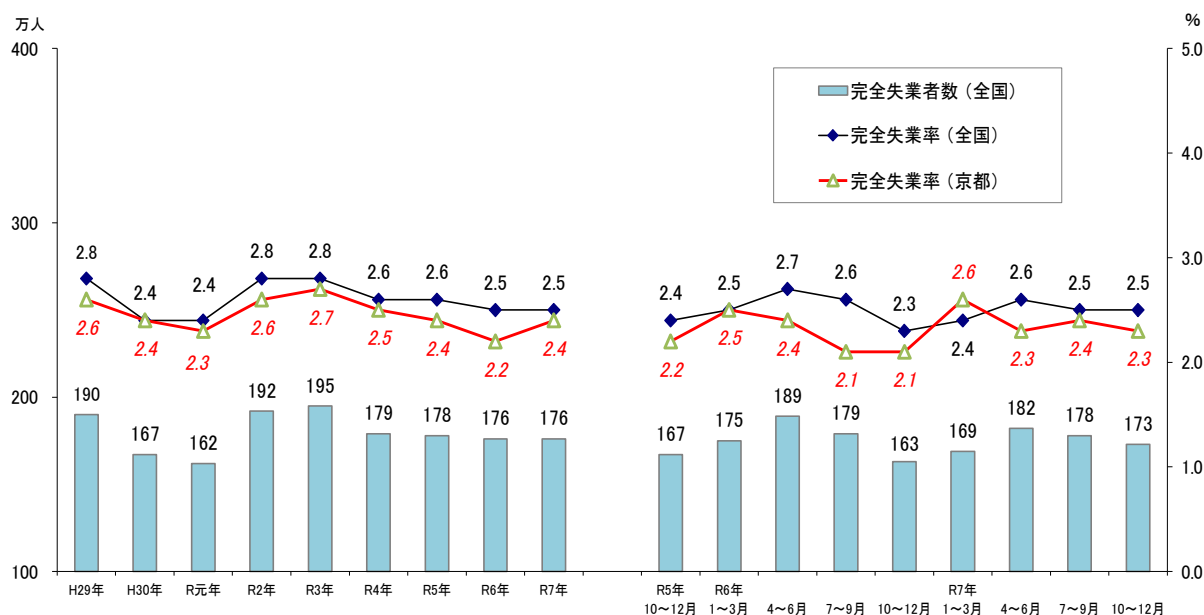
※過去最低は平成21年8月の0.42倍。過去最高は昭和48年11月の1.93倍。

#### 【その他の主な指標】

- (1) 新規求人倍率（季節調整値）は2.15倍で、前月より0.05ポイント上昇。  
※過去最低は平成21年5月の0.76倍。過去最高は平成31年4月の2.49倍。
- (2) 新規求人数（季節調整値）は約79万人と前月比4.4%増加。

【厚生労働省職業安定局 令和8年4月28日公表資料から】

### 【完全失業率の推移】



※ 資料出所：総務省統計局「労働力調査」

全国の四半期ごとの完全失業率（原数値）及び完全失業者数は、労働力調査（基本集計）四半期平均（速報）結果。京都府の完全失業率は、四半期平均及び年平均（モデル推計値）。

### Ⅲ 最近の労働市場動向

令和8年3月内容 ①  
京都労働局職業安定部

項 目		数 値	年/月	コ メ ン ト
全 国	G D P (前期比)	%	R7/	年率換算 1.3%
	実質国内総生産成長率	0.3	10~12月	(2次速報値)
	(季節調整値) 就 業 者 数	万人 6,815	R8/3	前月は6,827万人 前月差12万人減少
	(季節調整値) 雇 用 者 数	万人 6,175	R8/3	前月は6,197万人 前月差22万人減少
	(季節調整値) 完 全 失 業 者 数	万人 186	R8/3	男性111万人・女性75万人(原数値は194万人) 前月差1万人増加
	(季節調整値) 完 全 失 業 率	% 2.7	R8/3	前月より0.1ポイント上昇 前月は2.6%
	(季節調整値) 新 規 求 人 倍 率	倍 2.15	R8/3	前月より0.05ポイント上昇 前月は2.10倍
	(季節調整値) 有 効 求 人 倍 率	倍 1.18	R8/3	前月より0.01ポイント低下 前月は1.19倍
	月 末 被 保 険 者 数	人 45,210,962	R8/3	前年同月44,991,796人、前年同月比0.5%増加 前月は45,233,879人
	受 給 資 格 決 定 件 数	件 111,343	R8/3	前年同月98,059件、前年同月比13.5%増加 前月は105,570件
受 給 者 実 人 員	人 440,537	R8/3	前年同月379,412人、前年同月比16.1%増加 前月は412,289人	
受 給 率	% 0.97	R8/3	前年同月0.84%、前年同月差0.13ポイント上昇 前月は0.90%	
京 都 府	(四半期平均[モデル推計値]) 就 業 者 数	万人 136.9	R7/ 10~12月	前年同期135.5万人、前年同期比1.0%増加 前期は135.5万人
	(四半期平均[モデル推計値]) 京 都 の 完 全 失 業 者 数	万人 3.2	R7/ 10~12月	前年同期2.9万人、前年同期比10.3%増加 前期は3.3万人
	(四半期平均[モデル推計値]) 京 都 の 完 全 失 業 率	% 2.3	R7/ 10~12月	前年同期2.1%、前年同期差0.2ポイント上昇 前期は2.4%
	(季節調整値) 新 規 求 人 倍 率	倍 2.33	R8/3	前月と同水準 前月は2.33倍
	(季節調整値) 有 効 求 人 倍 率	倍 1.21	R8/3	前月より0.01ポイント低下 前月は1.22倍
	(原数値) う ち 中 高 年	倍 0.75	R8/3	前年同月0.79倍、前年同月差0.04ポイント低下 前月は0.78倍
	(原数値) う ち 5 5 歳 以 上	倍 0.65	R8/3	前年同月0.69倍、前年同月差0.04ポイント低下 前月は0.67倍
	月 末 被 保 険 者 数	人 771,893	R8/3	前年同月765,158人、前年同月比0.9%増加 前月は772,960人
	受 給 資 格 決 定 件 数	件 2,347	R8/3	前年同月1,914件、前年同月比22.6%増加 前月は2,203件(速報値であり、修正があり得る)
	受 給 者 実 人 員	人 8,807	R8/3	前年同月7,408人、前年同月比18.9%増加 前月は8,312人
受 給 率	% 1.13	R8/3	前年同月0.96%、前年同月差0.17ポイント上昇 前月は1.06%	

- (注) 1 新規求人倍率、有効求人倍率はパートタイムを含む季節調整値。  
 2 完全失業率、新規求人倍率、有効求人倍率の季節調整値は令和7年12月以前の値が再調整済み。  
 京都の就業者数、完全失業者数、完全失業率は、総務省「労働力調査」四半期平均(モデル推計値)。  
 3 ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに  
 来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの  
 求人に直接応募した就職件数等が含まれている。  
 4 「うち中高年(45歳以上)」、「55歳以上」の数値(求人倍率、就職率、新規求職申込件数、月間有効求職  
 者数)はパートタイムを除く常用の数値。  
 5 受給資格決定件数、受給者実人員は高齢継続被保険者及び特例被保険者を除く数値。  
 6 雇用保険関係の数値は、平成22年4月1日から雇用保険法改正により、全て一般被保険者。  
 7 受給率=受給者実人員/(受給者実人員+月末被保険者数)

項 目		数 値	年/月	コ メ ン ト	
京	新 規 求 人 数	人 17,907	R8/3	前年同月18,567人、前年同月比3.6%減少 前月は17,098人	
	月 間 有 効 求 人 数	人 54,498	R8/3	前年同月56,910人、前年同月比4.2%減少 前月は55,035人	
	新 規 求 職 申 込 件 数	件 8,146	R8/3	前年同月7,695件、前年同月比5.9%増加 前月は7,502件	
	うち中高年	件 2,506	R8/3	前年同月2,343件、前年同月比7.0%増加 前月は2,314件	
	月 間 有 効 求 職 者 数	人 42,823	R8/3	前年同月42,531人、前年同月比0.7%増加 前月は41,663人	
	うち中高年	人 12,455	R8/3	前年同月11,970人、前年同月比4.1%増加 前月は12,093人	
	月 末 適 用 事 業 所 数	事業所 48,219	R8/3	前年同月47,960事業所、前年同月比0.5%増加 前月は48,214事業所	
	離 職 票 交 付 枚 数	件 5,961	R8/3	前年同月5,572件、前年同月比7.0%増加 前月は4,992件	
	就 職 件 数	件 2,489	R8/3	前年同月2,704件、前年同月比8.0%減少 前月は2,219件	
	就 職 率 (対新規求職者)	% 30.6	R8/3	前年同月35.1%、前年同月差4.5ポイント低下 前月は29.6%	
	うち中高年齢者 (対新規求職者)	% 21.7	R8/3	前年同月26.1%、前年同月差4.4ポイント低下 前月は20.7%	
	充 足 率 (対新規求人)	% 13.8	R8/3	前年同月14.4%、前年同月差0.6ポイント低下 前月は12.9%	
	R8年3月 新規高卒	求 人 倍 率	倍 5.09	R7/9	前年同月4.76倍、前年同月差0.33ポイント上昇
		就 職 内 定 率	% 60.5	R7/9	前年同月56.7%、前年同月差3.8ポイント上昇
府	障 害 者 実 雇 用 率	% 2.47	R7/6	全国2.41% 令和6年6月は2.43% (全国は2.41%)	
	京 都 府 推 計 人 口	人 2,497,728	R8/3	令和8年3月1日現在	
	百 貨 店 売 上 高	(速報) 百万円 24,214	R8/3	3か月連続プラス 前年同月比4.5%増加	
	倒 産 件 数 (東京商工リサーチ)	件 37	R8/3	前年同月41件、前年同月比9.8%減少 前月は27件	
	(京都市) 消 費 者 物 価 指 数	総合指数 113.2	R8/3	前年同月比1.8%の上昇 前月比0.4%の上昇	

- (注) 8 実質国内総生産は平成12年7～9月期以降、国民総生産から国内総支出に形式変更。  
 9 百貨店売上高とその前年同月比は京都市内の主要百貨店ベース。  
 10 消費者物価の指数は令和2年を100とした値 (令和3年7月公表分より令和2年基準に改定)。  
 11 離職票交付枚数は高年齢被保険者及び特例被保険者を除く数値。  
 12 障害者実雇用率は雇用率制度の適用となる企業規模40.0人以上の民間企業の集計結果。  
 (令和6年4月以降、企業規模は43.5人以上から40.0人以上に変更、法定雇用率は2.3%から2.5%に引き上げ。)  
 ※令和8年7月以降、企業規模は40.0人以上から37.5人以上に変更、法定雇用率は2.5%から2.7%に引き上げることとなる。